

日本 ALS 協会 北海道支部  
支部長 山田 洋平 様

日本 ALS 協会 北海道支部  
2024 年度 支部総会開催にあたって

日頃から協会活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。またこの度は支部総会のご盛会誠にありがとうございます。

昨年度の大きな出来事は、なんと言っても元日の能登半島地震です。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。あの一件を機に、改めて日本 ALS 協会として災害対策に取り組む必要性を実感しました。私個人は避難訓練に向けた会議を行いました。ケアチームに加えて行政関係者や消防隊を交えて、ハザードマップの確認やエレベーターが止まった際の脱出方法を体験しました。非常に有意義な時間でした。もちろん本部も本気で取り組みますが、個人での取り組みや支部での取り組みがとても大切になります。是非本気になってください。自身を守れるのは自身です。全力でサポートします。

さて、私が会長についてからも岐阜県支部では2年で11人の患者会員様が亡くなりました。訃報に慣れるはずもなく、そのたびに自分の無力さを痛感致します。もちろん岐阜県に限らず全国の患者様が亡くなっており、また亡くなっていないだけでも苦しんでいる患者家族もたくさんいらっしゃるの純然たる事実です。いったい日本 ALS 協会とは役に立っているのかをこの2年間ずっと考えて来ました。そして気がつきました。

私一人の力で日本 ALS 協会が役に立つ存在になれるはずはありません。機関誌の巻頭挨拶にも書きましたが、私は非力です。けれども日本 ALS 協会を患者家族にとって救いの場にしたいと心から思っています。そのためには会員みんなの力が必要です。会員一人一人が日本 ALS 協会の主人公です。どうかみなさんの力を貸してください。2年後には日本 ALS 協会は生誕40周年を迎えます。先人が積み上げた歴史を未来に繋いでいくために御協力をよろしくお願い致します。

令和6年6月吉日

一般社団法人日本 ALS 協会

会長 恩田聖敬（おんださとし）